

平成 28 年度学校教育自己診断の結果と分析

アンケートの評価は A:よくあてはまる<4 点> B:ややあてはまる<3 点>

C:あまりあてはまらない<2 点> D:まったくあてはまらない<1 点>の得点を平均してポイント化<以下 P>した)

1 保護者アンケートについて

○回収率→61.2%(H27 60.1%)と、微増。

○結果概要と分析

- ・アンケート項目の全平均 P は 3.49 (H27 比+0.09) と横ばいであるが、高い評価を保っている。
- ・評価が高い項目(3.7P、肯定的評価<A+B>97%以上):「参観や学校行事への参加」「家庭への連絡・意思疎通」「個別の教育支援計画・個別の指導計画の保護者への説明」「子どもの悩みや相談の気軽さと適切な対応」

- ・個別の教育支援計画に関連する 6 項目すべて、大きく上昇した。

(6 項目:平均点 H27 比+0.9P、肯定的評価の合計 H27 比+42.5P)

⇒上記 3 点から、本校の教育活動に御理解を頂いていることがうかがえる。

- ・「授業の楽しさ、わかりやすさについて」、平均 3.3P (H27 比+0.2P)、肯定的評価の合計 59.6P (H27 比+4.6P) と上昇。これは、自己肯定感・授業力向上に関連した取り組みの成果が表れてきている可能性がある。

- ・評価が特に低い項目(2.7P 以下)は、いずれも学校ホームページ(以下 HP)に関する 2 項目「HP をよくみる」「HP の内容はわかりやすい」であった。閲覧については平均 P では H27 比+0.7 とわずかに好転。わかりやすさやコンテンツの充実については、今年度、情報担当部長が CMS 研修に参加し現在改良をすすめており、来年度の課題として力を入れて取り組みたい。

2 教職員アンケートについて

○回収率→95.0%、前年度より 7.3%上昇。

○結果概要と分析

- ・全項目の平均 P →3.01 (H27 比 +0.02) とほぼ横ばい。

- ・評価が高い項目:「家庭や関係機関との連携」「個別の教育支援計画・指導計画の作成」「児童生徒一人ひとりに応じた多様な教育活動」等の上位 5 項目の肯定的評価の平均は 94.1% (H27 比+2.1%) で、保護者の回答と同様の傾向。

- ・個別の教育支援計画に関連した項目の評価が高いことも保護者アンケートと一致している。

- ・「校長のリーダーシップ」について、肯定的評価が 81.5% (H27 比+19.6%) と上昇した。

- ・評価が低い項目:「府教育センターなどへの計画的参加」「研修成果の全体への周知方法」「初任者等への学校全体での育成体制」「授業見学の機会」などである。いずれも、H27.26 ともにあげられており、教員個々の専門的知識や授業力向上の方策と合わせて、学校全体としての研究・研修体制の充実が求められていると考える。